

科目	小 論 文
----	-------

芸術文化学部 芸術文化学科

(募集区分 b)

注 意

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は、4 ページにわたっています。
3. 解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。
4. 試験開始の合図があってから直ちに問題冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、不備がある場合は監督者に申し出てください。
5. 解答用紙の所定の欄に、受験番号を算用数字で記入してください。氏名を書いてはいけません。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
7. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

著作物引用箇所のため非公表

次の文章を読んで後の問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

(注1) 保坂和志…(1956) 小説家。

(注2) パラメータ…変数。ここではうねりを生む要素のこと。

(注3) ラウシェンバーグ…(1925-2008) 米国の美術家。

千葉雅也^{まさや}『センスの哲学』から。一部改変した。

問 筆者が考える「サスペンス構造」について簡潔に説明し、その考え方を用いて、芸術や文化に関してあなたが関心を持っている具体的な物事の魅力を800字程度で説明しなさい。

見本

下書用紙